

生成AI活用 ハンドブック 第1.0版 発行紹介

導入しないリスクを知り、
安心・適切な活用へ。

本資料は、本編から一部を抜粋
した“**紹介版**”となります
本編すべての内容は
会員専用ページをご参照ください

一般社団法人 日本知的財産協会（JIPA）
AI活用委員会



AI活用委員会

生成AI活用ハンドブック 第1.0版

 一般社団法人
日本知的財産協会
Japan Intellectual Property Association

一般（非会員）向け紹介資料

第1.0版

生成AIの導入を先送りするリスク

いまが、安心かつ適切に導入するタイミング

DELAY RISK

利用環境がないと、 シャドーAIが生まれやすい

正式な利用環境がないと、
従業員が未承認のAIツールを業務利用する
おそれがあります

→ 情報漏えい、入力データ、
生成物の信頼性が見えにくくなる

NOW

正式な利用環境を整え、 活用とリスク管理を始める

生成AIは、業務効率化や新たな価値創出の手段として
普及しています。
ルールと体制を整え、活用する段階です

→ 正規のツール、ルール、相談体制を整える
いま動くことが、無秩序な利用を防ぐ

「使わない」から「管理しながら使う」へ

背景 | ハンドブック作成の目的

急速な普及と導入時の留意事項を、社内で共有するために

環境変化

生成AIは、業務効率化と 価値創出の手段に

生成AIの導入・活用が進む一方、セキュリティ、
入力データ、生成物の正確性・公平性・信頼性など
に留意が必要です

→ 利用環境を整備しない場合、
シャドーAIなどのリスクが生じ得る

JIPAの認識

知財部から経営・事業部署へ 適切な情報発信を

JIPAは、知財部が生成AI導入時の留意事項を社内へ
説明できるよう、本ハンドブックを作成しました

→ 安心かつ適切な活用を、
事業活動とイノベーションにつなげる

特に、社内ガイドラインがまだ整備されていない企業等での活用を想定

目次

背景から活用例、導入・利用時のポイントまで

第1章

はじめに

背景・目的／普及／シャドーAI／使い方

第2・3章

生成AIの概要／ユースケース

生成AIの特徴と、一般・知財業務の活用例

第4章

管理部署：導入・活用促進のポイント

詳細はJIPA会員専用ページで公開

第5章

従業員個人：業務使用時の注意点

詳細はJIPA会員専用ページで公開

※ 第4章・第5章の詳細は、JIPA会員のみ閲覧できます。

想定読者と社内での使い方

社内ガイドラインがまだ整備されていない企業等を特に想定

主な使用者

知財部
生成AI導入
推進担当

社内ガイドライン未整備の
企業を特に想定



説明・共有

1

管理部署・生成AI導入決裁部署

導入可否、管理体制、ルール整備の判断材料

2

IT部署・事業部署

特徴・ユースケース・留意点を共通理解

3

従業員

社内導入後の具体的な注意喚起

第2・3章＝認識合わせ | 第4・5章＝会員向け実務情報

本書で得られるポイント

背景理解から活用像、導入・利用時の実務情報まで

01

第1章

導入の背景を理解する

普及の背景と、
利用環境を整備しない際
のリスクを整理

得られる効果

いま導入を考える理由
がわかる

02

第2・3章

共通理解と活用像をつくる

生成AIの概要と、
一般・知財業務の活用
例を紹介

得られる効果

社内説明と試行の土台
ができる

03

第4章

導入・活用促進を考える

管理部署向けの詳細は、
会員専用ページで公開

会員限定

実務情報を確認できる

04

第5章

業務での使用を考える

従業員向けの詳細は、
会員専用ページで公開

会員限定

利用時の情報を確認で
きる

公開サンプル | 生成AIのユースケース

判断前の情報整理・たたき台作成に使う

3. 一般業務で試しやすいユースケース

日常業務の「読む・整理する・下書きする」作業から小さく試す



 長い資料を読めない → 要点を短く要約する 出力 要約メモ	 文章が硬く伝わりにくい → 読み手に合わせて言い換える 出力 言い換え案
 説明の構成に迷う → 話の流れを組み立てる 出力 説明骨子	 企画の切り口がほしい → 新しい観点を複数出す 出力 アイデア案
 数字の傾向を見たい → 表データの傾向を読み取る 出力 傾向メモ	 外国語資料を読みたい → 内容を日本語に翻訳する 出力 翻訳案
 スケジュールを整理したい → 作業を期限順に並べる 出力 ToDo案	 社内ルールを探しにくい → 社内ルールから該当箇所を探す 出力 該当箇所候補

12

PUBLIC SAMPLE

このページで伝わるポイント

1 幅広い実務に直結

知財業務以外にも、
幅広い業務に利用可能

2 人が判断する前提

AI活用の範囲を明確にし、
安心して試す入口を示す

3 社内展開しやすい

知財部内だけでなく、
事業部への説明にもつながる



会員限定コンテンツ

詳細はJIPA会員専用ページで公開

1 従業員向け

従業員向けの実務情報を、会員専用ページで確認できます

2 社内説明に活用

原文・図表は、会員向けコンテンツとして提供します

3 詳細は非公開

一般向け紹介版では、閲覧できません



会員限定コンテンツ

詳細はJIPA会員専用ページで公開

1 従業員向け

従業員向けの実務情報を、会員専用ページで確認できます

2 社内説明に活用

原文・図表は、会員向けコンテンツとして提供します

3 詳細は非公開

一般向け紹介版では、閲覧できません

生成AI導入の最初の一步を、いま。

導入しないリスクを放置せず、安心かつ適切な活用へ。

背景を共有

普及の背景と、利用環境を
整備しないリスクを共有

活用像を描く

概要とユースケースから、
自社での活用像を検討

会員向け実務情報

第4章・第5章の原文・図表を
会員専用ページで確認

**第4章・第5章を含む詳細は、JIPA会員専用ページでご覧いただけます
この機会にJIPAへの入会を、ぜひご検討ください**

「知財をつなぎ、経営価値を高める」